



「日本的経営における女性の戦略的活躍推進」

研究会（第一期）

ご案内

研究会について

マルチクライアント

現代経営学研究所（RIAM）は神戸大学経営学研究科の産学連携事業を担うNPO法人です。RIAMは様々な活動を神戸大学経営学研究科と共同で行っておりますが、なかでも「マルチクライアント型研究会」、異なる企業からの参加メンバーがそれぞれ社内の課題を持ち寄り、プログラム・ディレクターや講師とともに、アカデミックな知見やメンバー同士のディスカッションを通じて問題解決に向けたアクションプランを考える研究会を開催しています。

「女性の戦略的活躍推進研究会」は、このマルチクライアント型研究会であり、参加各社の戦略的な女性活躍のあり方を研究していきます。研究の成果は基本的に各社に還元されますが、内容を一般的にまとめ、「政策提言レポート」や「学術論文」への展開も図ります。

テーマ

企業活動のグローバル化や少子高齢化により労働力人口が減少する社会において、多くの組織で、性別、国籍、年齢、知識や経験、働き方などにおける多様な人材の活躍を促すマネジメントのあり方が議論されています。すなわち「ダイバーシティ・マネジメント」です。本研究会は会社の中のジェンダー・ギャップに着目し「まずは女性から」考えます。最初のステップとして「女性活躍推進」に注力することで、ダイバーシティが進み、さらにはグローバルな展開も図ることができると考えているからです。

本研究会の独自性は、女性活躍推進を阻害するマネジメント上の問題を、日本的経営の観点から検討していきます。伝統的な日本的経営の強みと、それを支える組織の体質は次のように表すことができます。

日本企業は、組織構成メンバー相互の緻密な擦り合わせ型の調整活動に強みがあった。それをうまく行うには、さまざまな職場の経験、知識の共有、部門間のコミュニケーションの拡大、つまり「企業特殊総合技能」が必要であった。

企業特殊総合技能をもつ人材は複数の仕事経験（異動）を通じて育つのであって、特定のトレーニング（キャリア開発）がうまく実施できるかどうかは人事管理の仕組みに依存する。つまり特定の仕事と結びつかない職能資格制度が向いていた。

管轄を超える異動は全体最適の観点から決定される必要があるため、人事権は人事部に集中した。



男性総合職

- ・何でもやります
- ・どこでも行きます
- ・いつでも働きます
- etc.・・・

このような、組織からの拘束性を無制限に引き受けてきた仕組みを改革することは、同時に男性総合職の働き方改革（WLB）の議論にも繋がります。しかし、戦略なき「人材の多様性の推進」と「働き方改革」は、これまで機能的であった日本的経営の強みを損なう恐れがあります。

本研究会は日本的経営と女性活躍推進をトレードオフの関係にすることなく、両者を補完的に進めていくためにはどうすればよいかを検討していきます。また、そのような問題の解決に取り組む、女性活躍推進の部門やスタッフの役割はどのようなものでしょうか。本研究会は5回のセッションはテーマに関わるトピックスを一つひとつ考えながら、総合的に学び、実践へ展開できるようにプログラムを組んでいます。本研究会が目指す成果は、

女性活躍を阻害するマネジメント上の問題を抽出し、その解決に向けてわが社のアクションプランを策定する

です。

進め方

本研究会は、文献と講義を通じた知識習得に加えて、演習による体験学習、ディスカッションを通じての気づきから、実践への応用を探索していきます。

事前課題

準備段階で学習するための知識を整え、セッションに集中して取り組むための、課題図書を読み込み・レポートの作成

レクチャー

プログラム・ディレクターと、テーマに相応しいゲスト講師による講義

グループ・ディスカッション

現場に精通された方々からの情報提供に基づいてグループ・ディスカッションを行い、受講生、ゲスト講師、プログラム・ディレクターが一体となって議論を深めていきます

研究会では、これらの事前課題とセッションでの学びを内省してください。内省を積み重ねることは、自分なりの解決策を見出していくためのよい機会となるでしょう。最終日は、実践につながるプレゼンテーション・セッションです。参加企業ごとにレクチャー形式で、テーマに関する話題提供と問題提起を行います。

プログラム・ディレクター

加護野忠男 甲南大学特別客員教授

田井久恵 TAI 働き方研究所代表 (元帝人(株)女性活躍推進室長(初代)・CSR
室長/帝人グループ 理事)

平野光俊 神戸大学大学院経営学研究科教授

スケジュール

2014年11月～3月 全5回 14:00～18:00 (最終回は時間変更あり)

第1回

2014年11月25日(火) 14:00～18:00

- ・女性の戦略的活躍推進 (Strategic Positive Action: SPA) の課題
- ・日本的経営における戦略要因/職場要因/働き方要因とのつながり
- ・参加者の情報共有/ネットワーキング

講師: 加護野、田井、平野

第2回

2014年12月11日(木) 14:00～18:00

- ・日本的経営とSPAの事例分析

ゲスト講師: 21世紀職業財団 関西事務所長 佐野由美 氏

第3回

2015年1月15日(木) 14:00～18:00

SPAと働き方改革/WLBの推進事例

ゲスト講師: SCSK株式会社 人事グループ人事企画部 副部長 川浪伸介 氏

第4回

2015年2月12日(木) 14:00～18:00

各社の女性リーダーによる講話: 女性のキャリアからSPAを考える(4名程度)

「これまでのキャリア」、「仕事のゴール、人生のゴール」、「マネジメントの課題」

第 5 回

2015 年 3 月 12 日（木） 開始時間未定（参加企業数に応じて設定）～18：00

まとめ：実践へのコミットメント/各社のアクションプラン発表

課題図書

『多様な人材のマネジメント』（はじめに、第 1 章） 奥林康司・平野光俊編著（中央経済社）

『ワーク・ライフ・バランス支援の課題』佐藤博樹・武石恵美子編著（東京大学出版会）

『スクール之夜』 芦崎 笙 著（日経新聞出版社）

『日本の経営（新訳版）』ジェームス・アベグレン著/山岡洋一訳（日本経済新聞社）

『経営の精神』加護野忠男著（生産性出版）

開催場所

神戸大学六甲台キャンパス／神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ

募集について

対象者

女性活躍/ダイバーシティ推進に向けて人事制度設計や組織開発に携わっている方

女性活躍/ダイバーシティ推進に向けてリーダーシップを発揮されている方

女性活躍/ダイバーシティ推進に向けて社内ロールモデルになっている方

募集定員

10 社 20 名（1 社につき 2 名）

研究会としての一貫性を持つために参加者は固定し毎回出席されるのが望ましいですが、一人を固定、もう一人は交代で出席していただくことも可能です。

参加費

324,000 円（1 社 2 名分 消費税込み）

消費税・課題図書・資料代含む。ご希望があれば分割払い（2 回）も承ります。

お申込・お問い合わせ

特定非営利活動法人 現代経営学研究所 (RIAM) (担当: 池上)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1 神戸大学経営学研究科内

TEL : 078-803-1623 FAX : 078-805-1624

E-mail : bi@riam.jp

お申込は、(1) 貴社名・部署名 (2) 参加ご希望者名 (ご担当者名)
(3) ご連絡先 (ご住所、TEL、FAX、E-mail) を明記のうえ、FAX または E-mail にて、上記事務局までお送り下さい。追って担当者より、ご連絡申し上げます。

現代経営学研究所 (RIAM)

神戸大学大学院経営学研究科の教員が中心となり、研究者(教員)・学生・産業界(企業)の交流を図るために設立した「現代経営学研究学会」が前身となっています。その後、2004年に改組し、NPO 法人現代経営学研究所(Research Institute of Advanced Management:RIAM)となりました。

私たち RIAM は、企業と大学をつなぐことによって、「最先端で実践的な経営学」という教育研究を実現させるため、そのシステム作りを行っています。主な活動として、実務界からゲストを招いてのワークショップとシンポジウムの定期開催や、各種企業向け研修の実施、実務と研究がコンパクトにまとめられた会報誌「ビジネス・インサイト」の発行などがあります。

